

三重津海軍所跡 整備に向けた現況の整理

資料⑤

	項目	現状	問題点	課題	分類
公園としての整備	園路・広場	経年劣化により段差が生じている箇所がある	・高齢者や車椅子利用者等には利用しづらい	・誰もが利用しやすい環境整備	整備
	園路・広場	大正期の絵図に基づく地上表示と園路が組み合わされている	・利用者に誤解を与える恐れがある	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新	整備
	園路・広場	公園本体から飛び地への誘導が図られていない	・来訪者が飛び地の存在に気づきにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	修景施設	樹木の植栽がある	・遺構に影響を与える可能性がある ・史跡地としての修景が考慮されていない	・遺構に影響を与える可能性がある樹木の取扱い ・史跡地と調査する公園施設の検討	保存 整備
	修景施設	木陰が少なく、休憩施設とも連動していない	・夏場の利便性が図られていない	・誰もが利用しやすい環境整備 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	修景施設	芝生の生長が早く、芝刈りが追いつかない	・公園としては雑然とした印象を与えやすい ・平面表示が見えにくい	・史跡地と調和する公園施設の検討 ・史跡地内の芝刈りなどを含めた適切な管理運営	整備 活用
	休憩施設	東屋とベンチがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	遊戯施設	遊具や足洗い場がある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	便益施設	史跡地内に駐車場がある	・地下遺構の保存強化には好ましくない ・史跡地としての修景が考慮されていない	・景観配慮と遺構保存強化のための駐車場移設の検討 ・十分な広さを持つ駐車場整備の検討	保存 整備
	便益施設	史跡地内に現代的なトイレがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	管理施設	夜間灯、常夜灯を設置している	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	サイン	現在の動植物の解説サインがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	その他	石碑についての解説サインを設置していない	石碑と三重津海軍所跡とのつながりを理解しにくい	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	その他	河川護岸などの地形が表現されていない	・早津江川との機能的な関わりを感じることができず、イメージをつかみにくい	・早津江川との機能的な関わりを表現する地形の復元表示の整備	整備
漁港整備	漁港	御船屋だったことを示すのは石碑のみである	・史跡の一部であることが理解されにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	漁港	コンクリート等で整備されている	・土と木材等で構成されていた往時の姿とは景観を異にする	・漁港施設の修景の検討	整備
展示施設としての整備	屋外展示施設	ルートサインを設置していないため、VRスコープの案内に頼っている。	・史跡地内での歴史性を理解しにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	屋外展示施設	史跡の範囲がわかりづらい	・視覚的に「三重津海軍所跡」をイメージしにくい ・来訪者が史跡の全体像を把握できない	・史跡範囲を効果的に示す表示の検討 ・史跡地での効果的な視点場の設定	整備
	屋外展示施設	コンクリート敷設や実寸代写真パネルによる形状と位置表示を行っている	・立体的な遺構の状況が分かりにくい	・ドライドックの表示方法の検討 ・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	佐野常民記念館閉館時にはVRスコープの貸出しを行っていない	・VRスコープなしで幕末の三重津海軍所をイメージすることは難しい	・いつ現地を訪れても、史跡について理解を得ることができる整備の検討	整備
	屋外展示施設	解説サインには写真を付しているのみである	・稼働期の姿を十分に伝えられない	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	ドライドックについては、木組遺構等の姿がイメージとして定着している	・現在の整備では土壁になっていた稼働時の姿を伝えられていない。	・ドライドックの表示方法の検討	整備
	屋外展示施設	平面表示では、船の修理に関する一連の工程等を具体的に伝えるまでには至っていない	・船の修理に関する一連の工程等を把握できない	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	多言語表記は、名称や簡単な説明のみの英語表記のみである	・海外からの来訪者に対する解説としては不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備

三重津海軍所跡 整備に向けた現況の整理

資料⑤

	項目	現状	問題点	課題	分類
展示施設としての整備	屋内展示施設	十分な展示面積が確保できていない	・明確な動線設定を行えない	・史跡地に近接し、適切な展示環境を確保した屋内展示施設の整備	整備
	屋内展示施設	佐賀藩の他の近代化事業についての詳しい解説が不足している	・理解を深める上で不十分	・佐賀藩の関連資産に関する展示 ・佐賀藩の関連資産との連動する情報発信	整備 活用
	屋内展示施設	「明治日本の産業革命遺産」についての詳しい解説が不足している	・理解を深める上で不十分	・「明治日本の産業革命遺産」での三重津海軍所跡の位置づけや、他の構成資産の解説、他の構成資産との連携による情報発信	整備 活用
	屋内展示施設	洋式船に関する情報が少ない	・理解を深める上で不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋内展示施設	正確とは言えない展示が一部残っている	・来訪者の誤解を招く恐れがある	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新 ・調査研究プロセスや発掘調査の最新情報を反映できる展示の検討	整備
	屋内展示施設	展示内容が専門的で一般向けとしてはわかりにくいものもあり、子供向けの解説等もない	・幅広い年代の来訪者に向けた展示として不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋内展示施設	「三重津タイムクルーズ」は好評であるが、不正確な表現となっている箇所がある	・来訪者に間違った知識を与えてしまう。	・新たなコンテンツやVRスコープの内容の更新などの検討	活用
	プログラム	ガイドの人員や教育体制、環境整備などが整っていない	・増加する来訪者とそのニーズに対応できていない	・ガイド体制の充実や質の向上の推進	活用
	プログラム	多言語でのガイドには対応できていない	・増加する来訪者とそのニーズに対応できていない	・ガイド体制の充実や質の向上の推進	活用
周辺の観光施設等の状況	観光	観光施設等が少ない	・来訪者のニーズに応えることができない ・周辺への展開がない	・滞在して楽しめる場所など、周辺資源や施設に関する情報発信	活用
	観光	カフェや土産物店が開店したが、来訪者が周辺を散策する状況には至っていない	・来訪者のニーズに応えることができない	・滞在して楽しめる場所など、周辺資源や施設に関する情報発信	活用
	観光	三重津を題材とした商品開発もない	・来訪者のニーズに応えることができない	・商品開発を促す仕組みの検討	活用
	観光	佐賀市南部の観光資源とあわせたPRに努めているものの、その効果は十分ではない	・観光活動の充実やリピーターの確保に繋がらない	・様々な層をターゲットにした多様な情報発信 ・親しみのあるプロモーション手法の検討	活用
	観光	観光客は増加しているが、リピーターは少ない	・来訪者が何度も訪れるような仕組みがない	・新たなコンテンツやVRスコープの内容の更新などの検討 ・様々な層をターゲットにした多様な情報発信・イベントの充実	活用
	観光 広域誘導	有明海沿岸道路が開通予定	・来訪者増が見込まれる	・ガイド体制の充実や質の向上の推進 ・史跡地までの誘導の充実	活用
	広域誘導	自家用車やバスの量が格段に増えている	・地域住民の暮らしに影響が出る可能性がある	・来訪者増加に伴う地域への適切な対応	活用
	地域	地域住民が繰り返し訪れるような仕掛けは不足している	・市民が訪れる場所としての魅力が不足している	・遠方からの来訪者や市民の日常的な利用を促す仕組みの検討 ・史跡の価値への市民の理解度や興味を向上させるプログラムの構築	活用
マネジメント	維持管理	想定される災害や災害がもたらす遺構への影響については十分な検証を行っていない	・遺構を毀損する可能性がある ・来訪者の安全性が不十分	・災害時に備えた対策や避難経路や緊急手順書の整備	活用
	教育・啓発	子ども向けの教材等が不足している	・将来を支える担い手が不足する可能性がある	・子ども向けの教育プログラムの充実	活用
	教育・啓発	「明治日本の産業革命遺産」の統一した価値の伝達が必要である	・理解を深める上で不十分	・「明治日本の産業革命遺産」の他の構成資産との連携による情報発信	活用
調査研究	調査・研究	遺構の保存手法やモニタリングの検証が十分ではない	・遺構に影響を与える可能性がある	・地下遺構の保存手法の検討 ・地下水位等のモニタリング手法の確立	保存
	調査・研究	船屋地区・稽古場地区は調査の未実施箇所が多く、今後の目標年次や調査計画も定まっていない	・整備にあたっての調査目標や、整備レベル等の設定ができない	・整備・活用のための具体的な調査計画の策定 ・整備・活用のための遺構の価値評価の検証	保存
	調査・研究	文献調査でもまだ判明していない事柄が多い	・具体的な整備内容が確定できない	・整備・活用のための具体的な調査計画の策定	保存

三重津海軍所跡 整備に向けた現況の整理

資料⑤

	項目	現状	問題点	課題	分類
公園としての整備	園路・広場	経年劣化により段差が生じている箇所がある	・高齢者や車椅子利用者等には利用しづらい	・誰もが利用しやすい環境整備	整備
	園路・広場	大正期の絵図に基づく地上表示と園路が組み合わされている	・利用者に誤解を与える恐れがある	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新	整備
	園路・広場	公園本体から飛び地への誘導が図られていない	・来訪者が飛び地の存在に気づきにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	修景施設	樹木の植栽がある	・遺構に影響を与える可能性がある ・史跡地としての修景が考慮されていない	・遺構に影響を与える可能性がある樹木の取扱い ・史跡地と調査する公園施設の検討	保存 整備
	修景施設	木陰が少なく、休憩施設とも連動していない	・夏場の利便性が図られていない	・誰もが利用しやすい環境整備 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	修景施設	芝生の生長が早く、芝刈りが追いつかない	・公園としては雑然とした印象を与えやすい ・平面表示が見えにくい	・史跡地と調和する公園施設の検討 ・史跡地内の芝刈りなどを含めた適切な管理運営	整備 活用
	休憩施設	東屋とベンチがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	遊戯施設	遊具や足洗い場がある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	便益施設	史跡地内に駐車場がある	・地下遺構の保存強化には好ましくない ・史跡地としての修景が考慮されていない	・景観配慮と遺構保存強化のための駐車場移設の検討 ・十分な広さを持つ駐車場整備の検討	保存 整備
	便益施設	史跡地内に現代的なトイレがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	管理施設	夜間灯、常夜灯を設置している	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡の景観には馴染まないサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	サイン	現在の動植物の解説サインがある	・史跡地としての修景が考慮されていない	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新 ・史跡地と調和する公園施設の検討	整備
	その他	石碑についての解説サインを設置していない	石碑と三重津海軍所跡とのつながりを理解しにくい	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	その他	河川護岸などの地形が表現されていない	・早津江川との機能的な関わりを感じることができず、イメージをつかみにくい	・早津江川との機能的な関わりを表現する地形の復元表示の整備	整備
漁港整備	漁港	御船屋だったことを示すのは石碑のみである	・史跡の一部であることが理解されにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	漁港	コンクリート等で整備されている	・土と木材等で構成されていた往時の姿とは景観を異にする	・漁港施設の修景の検討	整備
展示施設としての整備	屋外展示施設	ルートサインを設置していないため、VRスコープの案内に頼っている。	・史跡地内での歴史性を理解しにくい	・史跡地内での歴史性を理解しやすいルート設定	整備
	屋外展示施設	史跡の範囲がわかりづらい	・視覚的に「三重津海軍所跡」をイメージしにくい ・来訪者が史跡の全体像を把握できない	・史跡範囲を効果的に示す表示の検討 ・史跡地での効果的な視点場の設定	整備
	屋外展示施設	コンクリート敷設や実寸代写真パネルによる形状と位置表示を行っている	・立体的な遺構の状況が分かりにくい	・ドライドックの表示方法の検討 ・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	佐野常民記念館閉館時にはVRスコープの貸出しを行っていない	・VRスコープなしで幕末の三重津海軍所をイメージすることは難しい	・いつ現地を訪れても、史跡について理解を得ることができる整備の検討	整備
	屋外展示施設	解説サインには写真を付しているのみである	・稼働期の姿を十分に伝えられない	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	ドライドックについては、木組遺構等の姿がイメージとして定着している	・現在の整備では土壁になっていた稼働時の姿を伝えられていない。	・ドライドックの表示方法の検討	整備
	屋外展示施設	平面表示では、船の修理に関する一連の工程等を具体的に伝えるまでには至っていない	・船の修理に関する一連の工程等を把握できない	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋外展示施設	多言語表記は、名称や簡単な説明のみの英語表記のみである	・海外からの来訪者に対する解説としては不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備

三重津海軍所跡 整備に向けた現況の整理

資料⑤

	項目	現状	問題点	課題	分類
展示施設としての整備	屋内展示施設	十分な展示面積が確保できていない	・明確な動線設定を行えない	・史跡地に近接し、適切な展示環境を確保した屋内展示施設の整備	整備
	屋内展示施設	佐賀藩の他の近代化事業についての詳しい解説が不足している	・理解を深める上で不十分	・佐賀藩の関連資産に関する展示 ・佐賀藩の関連資産との連動する情報発信	整備 活用
	屋内展示施設	「明治日本の産業革命遺産」についての詳しい解説が不足している	・理解を深める上で不十分	・「明治日本の産業革命遺産」での三重津海軍所跡の位置づけや、他の構成資産の解説、他の構成資産との連携による情報発信	整備 活用
	屋内展示施設	洋式船に関する情報が少ない	・理解を深める上で不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋内展示施設	正確とは言えない展示が一部残っている	・来訪者の誤解を招く恐れがある	・史跡地と関連が薄い、あるいは正しい理解を妨げるサイン等の撤去・更新 ・調査研究プロセスや発掘調査の最新情報を反映できる展示の検討	整備
	屋内展示施設	展示内容が専門的で一般向けとしてはわかりにくいものもあり、子供向けの解説等もない	・幅広い年代の来訪者に向けた展示として不十分	・誰もが理解しやすく楽しめる展示・解説の検討	整備
	屋内展示施設	「三重津タイムクルーズ」は好評であるが、不正確な表現となっている箇所がある	・来訪者に間違った知識を与えてしまう。	・新たなコンテンツやVRスコープの内容の更新などの検討	活用
	プログラム	ガイドの人員や教育体制、環境整備などが整っていない	・増加する来訪者とそのニーズに対応できていない	・ガイド体制の充実や質の向上の推進	活用
	プログラム	多言語でのガイドには対応できていない	・増加する来訪者とそのニーズに対応できていない	・ガイド体制の充実や質の向上の推進	活用
周辺の観光施設等の状況	観光	観光施設等が少ない	・来訪者のニーズに応えることができない ・周辺への展開がない	・滞在して楽しめる場所など、周辺資源や施設に関する情報発信	活用
	観光	カフェや土産物店が開店したが、来訪者が周辺を散策する状況には至っていない	・来訪者のニーズに応えることができない	・滞在して楽しめる場所など、周辺資源や施設に関する情報発信	活用
	観光	三重津を題材とした商品開発もない	・来訪者のニーズに応えることができない	・商品開発を促す仕組みの検討	活用
	観光	佐賀市南部の観光資源とあわせたPRに努めているものの、その効果は十分ではない	・観光活動の充実やリピーターの確保に繋がらない	・様々な層をターゲットにした多様な情報発信 ・親しみのあるプロモーション手法の検討	活用
	観光	観光客は増加しているが、リピーターは少ない	・来訪者が何度も訪れるような仕組みがない	・新たなコンテンツやVRスコープの内容の更新などの検討 ・様々な層をターゲットにした多様な情報発信・イベントの充実	活用
	観光 広域誘導	有明海沿岸道路が開通予定	・来訪者増が見込まれる	・ガイド体制の充実や質の向上の推進 ・史跡地までの誘導の充実	活用
	広域誘導	自家用車やバスの量が格段に増えている	・地域住民の暮らしに影響が出る可能性がある	・来訪者増加に伴う地域への適切な対応	活用
	地域	地域住民が繰り返し訪れるような仕掛けは不足している	・市民が訪れる場所としての魅力が不足している	・遠方からの来訪者や市民の日常的な利用を促す仕組みの検討 ・史跡の価値への市民の理解度や興味を向上させるプログラムの構築	活用
マネジメント	維持管理	想定される災害や災害がもたらす遺構への影響については十分な検証を行っていない	・遺構を毀損する可能性がある ・来訪者の安全性が不十分	・災害時に備えた対策や避難経路や緊急手順書の整備	活用
	教育・啓発	子ども向けの教材等が不足している	・将来を支える担い手が不足する可能性がある	・子ども向けの教育プログラムの充実	活用
	教育・啓発	「明治日本の産業革命遺産」の統一した価値の伝達が必要である	・理解を深める上で不十分	・「明治日本の産業革命遺産」の他の構成資産との連携による情報発信	活用
調査研究	調査・研究	遺構の保存手法やモニタリングの検証が十分ではない	・遺構に影響を与える可能性がある	・地下遺構の保存手法の検討 ・地下水位等のモニタリング手法の確立	保存
	調査・研究	船屋地区・稽古場地区は調査の未実施箇所が多く、今後の目標年次や調査計画も定まっていない	・整備にあたっての調査目標や、整備レベル等の設定ができない	・整備・活用のための具体的な調査計画の策定 ・整備・活用のための遺構の価値評価の検証	保存
	調査・研究	文献調査でもまだ判明していない事柄が多い	・具体的な整備内容が確定できない	・整備・活用のための具体的な調査計画の策定	保存